



講義「学習プログラム開発の理論と手法」

ねらい:

- 学習プログラム開発に必要な基礎知識(基礎用語)を理解する。
- 学習プログラムを開発する手順と, 作成の際のポイントを理解する。

生涯にわたる学習(概念)

基礎知識

独学

職場内
教育

余暇
活動

しつけ

育児

介護

ボランティア活動

スポーツ

高齢者の
社会参画

男女
共同参画

まちづく
り活動

青少年の
社会参画

お手伝い

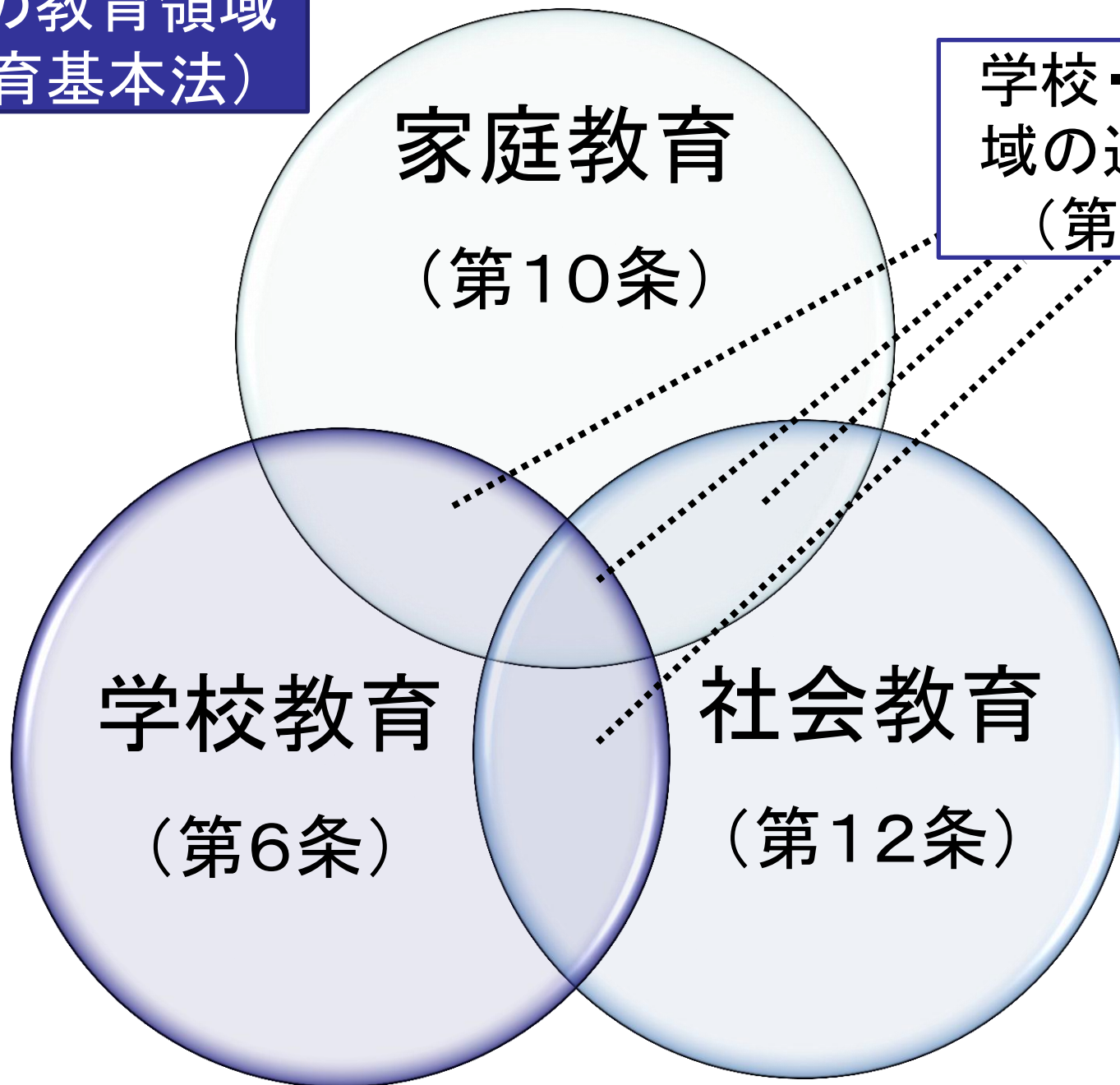
家庭
教育

学校
教育

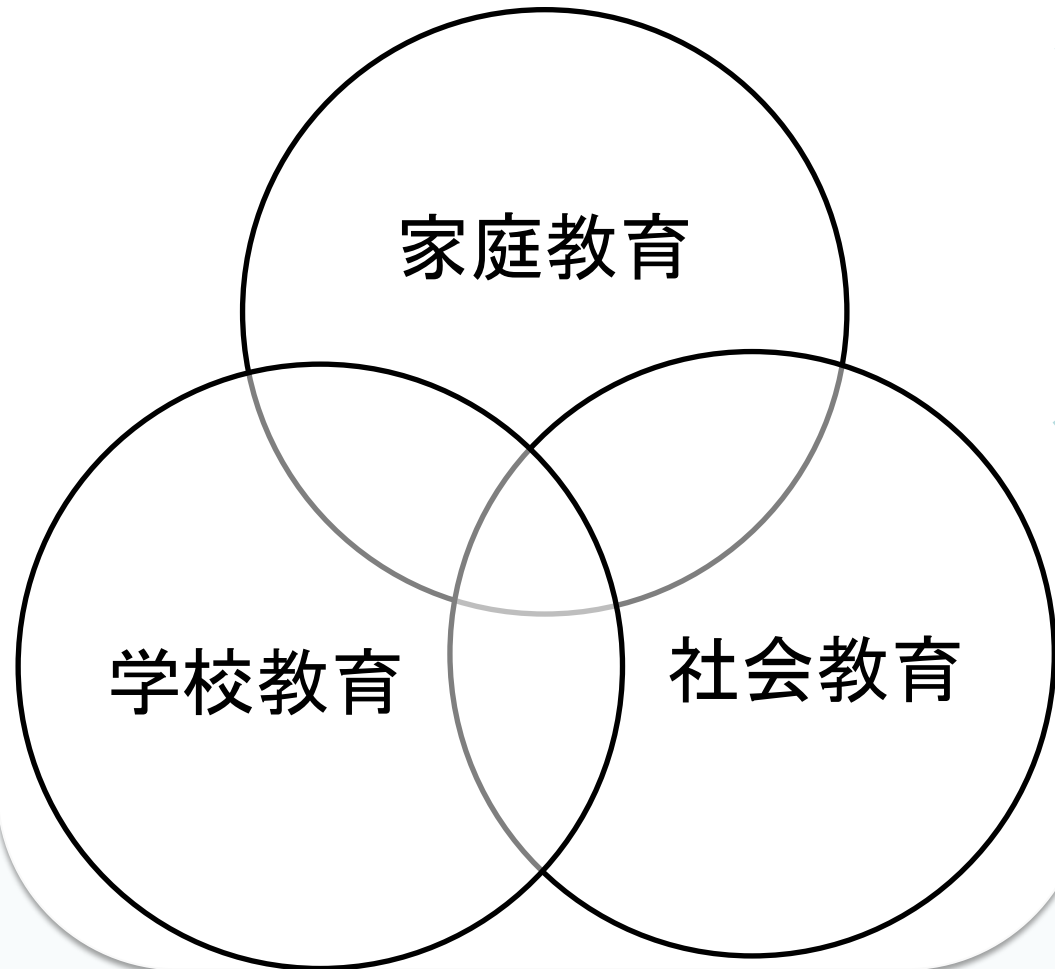
社会
教育

3つの教育領域
(教育基本法)

基礎知識



教育行政



家庭教育

学校教育

社会教育

高齢者
支援(福祉等)

男女共同参
画支援(人権
擁護等)

まちづくり支援
(産業地域振興
等)

青少年
支援(労働・公
安等)

広義の学習プログラム・狭義の学習プログラム

広義の学習プログラム

年間事業計画

〇〇〇年間事業計画

1. 町民憲章
2. 社会教育目標
3. 社会教育行政目標
4. 計画

事業名	趣旨	対象	会期	備考
〇〇〇	〇〇〇	〇〇人	〇〇〇	
〇〇〇	〇〇〇	〇〇人	〇〇〇	〇〇〇
〇〇〇	〇〇〇	〇〇人	〇〇〇	〇〇〇
〇〇〇	〇〇〇	〇〇人	〇〇〇	〇〇〇

個別事業計画

〇〇〇セミナー

1. 趣旨: _____
2. 主催: _____
3. 対象: 成人
4. 会場: 〇〇公民館
5. 回数: 全5回(1回2時間)
6. 展開

回	子	内容	本	講師	講師
1	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
2	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
3	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
4	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
5	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

各回の実施計画

「テーマ: 〇〇〇〇〇〇」

時刻	内容	留意点
〇〇:〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
〇〇:〇〇	VTR	〇〇〇〇
〇〇:〇〇	説明	〇〇〇〇
〇〇:〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇
〇〇:〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇

教材: 〇〇〇〇〇〇

用紙: 〇〇〇〇

会場: 〇〇〇〇

狭義の学習プログラム

年間事業計画

〇〇〇年間事業計画

1. 町民憲章
2. 社会教育目標
3. 社会教育行政目標
4. 計画

序	事業名	趣旨	対象	会費	備考
機会	〇〇〇	≡	婦人	〇〇〇	
指導	〇〇〇	≡	婦人	〇〇〇	≡
...	〇〇〇	≡	青年	〇〇〇	二
...	〇〇〇	≡	成人	〇〇〇	

1年間に行われる
すべての事業（学習
機会や学習支援）を
まとめた実施計画

(例)

〇〇町家庭教育支援
年間計画

個別事業計画(狭義の学習プログラム)

〇〇〇セミナー

1.趣旨: _____

2.主催: _____

3.対象: 成人

4.会場: 〇〇公民館

5.回数: 全5回(1回2時間)

6.展開

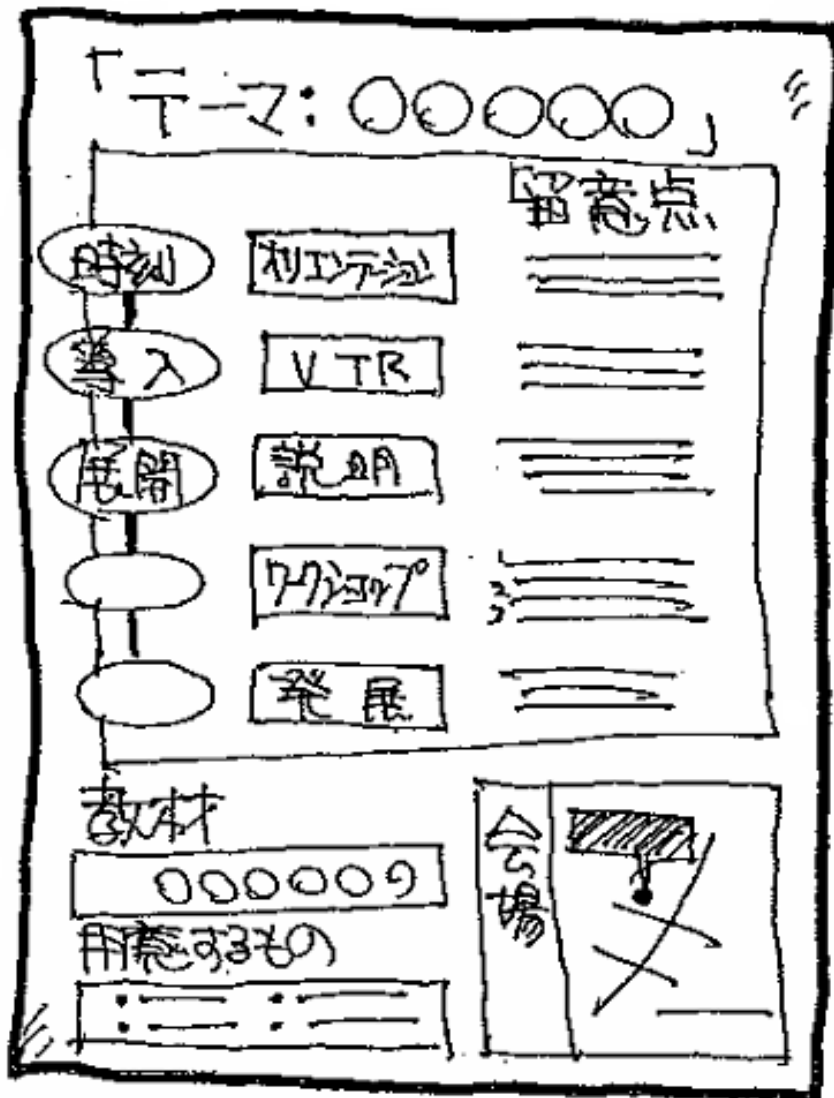
№	子マ	内容	日連	費料	講師
1	〇〇〇	_____	〇〇〇	_____	〇〇〇
2	〇〇〇	_____	〇〇〇	_____	〇〇〇
3	〇〇〇〇	_____	〇〇〇	_____	〇〇〇
4	△△△△	_____	〇〇〇〇	_____	〇〇〇〇
5	---	_____	〇〇〇	_____	〇〇〇

個々の事業ごとに
つくられる運営計画

(例)

- ・親の力をまなびあう
セミナー
- ・親子ほっこりキャンプ

各回の実施計画



各回ごとの詳細な
活動内容や順序,
流れが示されたもの

(例)

第1回セミナー実施計画

この研修では個別事業計画 = 学習プログラム

定義

集合的な学習機会(学級・講座, 行事, 集会等)において, 人々の学習を具体的な活動レベルで, どんな目標のもとに, どういう活動を, どんな順序で行い, どんな学習成果を生み出す(学習者の態度変容をもたらす)か, という一連のプロセスに関連する学習活動計画をまとめたもの。

個別事業計画(狭義の学習プログラム)

□□□セミナー

- 1.趣旨: _____
- 2.主催: _____
- 3.対象: 成人
- 4.会場: ○○公民館
- 5.回数: 全5回(1回2時間)
- 6.履修

	子マ	内マ	外マ	源料	講師
1	○○○	———	○○○	———	○○○
2	○○○	———	○○○	———	○○○
3	○○○○	———	○○○	———	○○○
4	△△△△	———	○○○○	———	○○○
5	———	———	○○○	———	○○○

個々の事業ごとに
つくられる運営計画

(例) 親の力をまなびあ
うセミナー



住民の学習を支援するための計画

学習プログラムの構成要素

- どのようなことを**目的**とし
- どのような**目標**をもって
- どのような**活動**を
- どのような**順序**で行い
- どのような**学習成果**を生み出すか
(学習者の意識や態度,行動の変容をもたらすか)

学習プログラム開発の進め方(PLAN)

シートA (準備シート)

テーマ

①個人の要望

②社会の要請

③地域課題の発見・分析

④学習目的の設定

⑤学習目標の設定

シートB (個別事業計画)

- ・プログラム名
- ・対象・定員
- ・参加費
- ・事前に必要な知識や準備物
- ・留意点
- ・学習プログラムの展開
- ・評価(振り返りの方法)

展開

回	学習 テーマ	各回の学習目標 (○)と学習内容	学習 方法	学習 場所	学習 資源

シートC (各回の実施計画)

- ・準備物
- ・会場図
- ・タイムスケジュール

実施計画

時刻	内容	留意点



講義・演習「学習プログラム開発の実際Ⅰ」

ねらい:

- 「個人の要望」と「社会の要請」のバランスがとれた学習プログラムを企画・立案することができる。
- 学習プログラムを評価することができる。
- 他者や他機関と連携・協働しながら、業務を推進していくことができる。

グループワーク I

「個人の要望」と「社会の要請」から
地域課題を設定する



「テーマ」と「市の概要」の決定

- テーマ

事前アンケートをもとに決定

- 市の概要

ば
れ
っ
と
市

A: 少子高齢化が進む中山間地域

B: 新しい住宅団地（ニュータウン）

（地元出身の旧住民と、引っ越してきた新住民とが混在している地域）

C: 地域のつながりが希薄化する都市地域

①「個人の要望」と②「社会の要請」

シートA

「個人の要望」

住民の学習ニーズ

【調べる方法】

住民調査(アンケート),
日常的な住民との交流

皆さんの日頃の経験を活かしなが
ら、テーマに関連する課題・要
望を挙げていく。

「社会の要請」

行政の重点課題・施策の 方向, 地域の課題

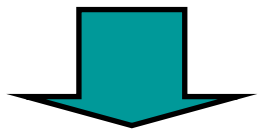
【調べる方法】

行政資料(総合計画,
基本計画),
広報資料, 統計資料,

テーマに関連する課題・政策方針
を挙げていく。

③地域課題の発見・分析

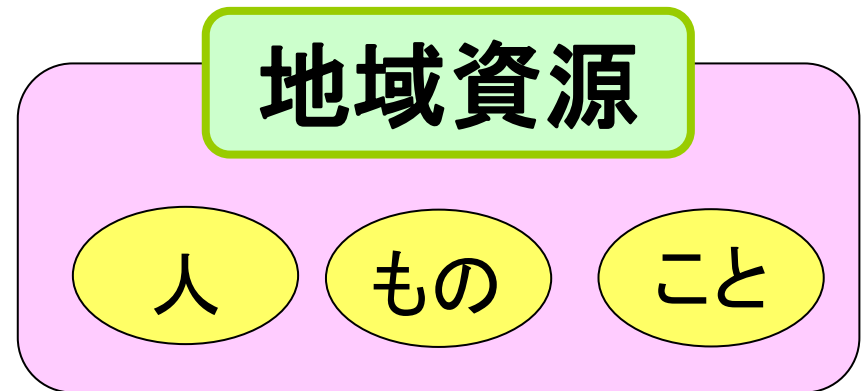
「個人の要望」と「社会の要請」



地域課題

地域住民の求めに応じていくべき課題

地域で解決しなければならない課題



- ・地域に必要なプログラムとは？
- ・地域課題を解決・改善するプログラムとは？
- ・地域資源を活用したプログラムとは？
- ・たくさん人が集まるプログラムとは？
- ・お金がかからずできるプログラムとは？

③地域課題の発見・分析

個人の要望

近所の川で、親子で川遊びや魚釣りをしたい。

社会の要請

地域資源を生かした市民協働のまちづくりを進めたい。

2つをバランスよく組み合わせて、地域課題を1つ設定する

地域課題

○ 地域の中心となって流れているぱれっと川が汚れているが、地域住民が川を取り巻く環境問題について自分たちの生活に関連付けて生活していない。

グループワークⅡ

地域課題から**学習目的**を
設定する



④学習目的の設定

地域課題

地域住民の求めに応じていくべき課題
地域で解決しなければならない課題



住民自らが、学びを通して地域の問題・課題を解決していけるようになるために、「学習」の場を作っていく。

学習目的

●“地域課題”を解決することにより、どのような状態に変わりたいのか。

④学習目的の設定

シートA

学習目的

(地域課題解決の方向性を示す)

どのような課題を, どのような状態にするのか?

地域課題を

こうなってほしいという
理想的な状態を考えてみる。

(学習目的の例文) ▲▲(地域課題)を●●●(意図)ようにする。

※「●●●ようにする」の部分は, 理念的なものでもよい。

- ・豊かな心を育てる。・道徳心を養う。・仲間意識を育てる。
- ・人材を育成する。・ネットワークを形成する。・地域の活性化を図る。

④学習目的の設定

シートA

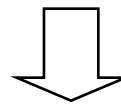
地域課題

地域の中心となって流れているぱれっと川が汚れているが、地域住民が川を取り巻く環境問題について自分たちの生活に関連付けて生活していない。

学習目的

かつて地域資源であったきれいな川を取り戻すために、地域住民が一体となって「川をきれいにする」といった気運を高め、ネットワークの構築をはかる。

(例文) ▲▲(地域課題)を●●●(意図)ようにする。



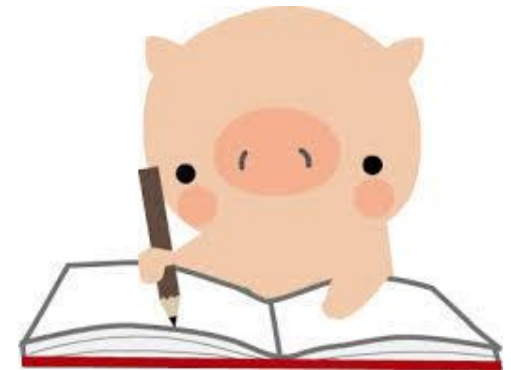
~~浄化設備を設置し、専門職員がゴミ拾いやパトロールを行う。~~



「社会教育」では解決できない？

グループワークⅢ

学習目的から**学習目標**を
設定する



⑤学習目標の設定

学習目的



学習目標

●学習によって、地域住民に

どんな**知識・技能・意識**を

身につけてほしいのか。

目的と目標の関係

健康増進

いきなり目的を達成することは難しい

目的

上級

目標

富士山に登る

中級

学習成果

目標

目標

山登りしても疲れない体力をつける

初級

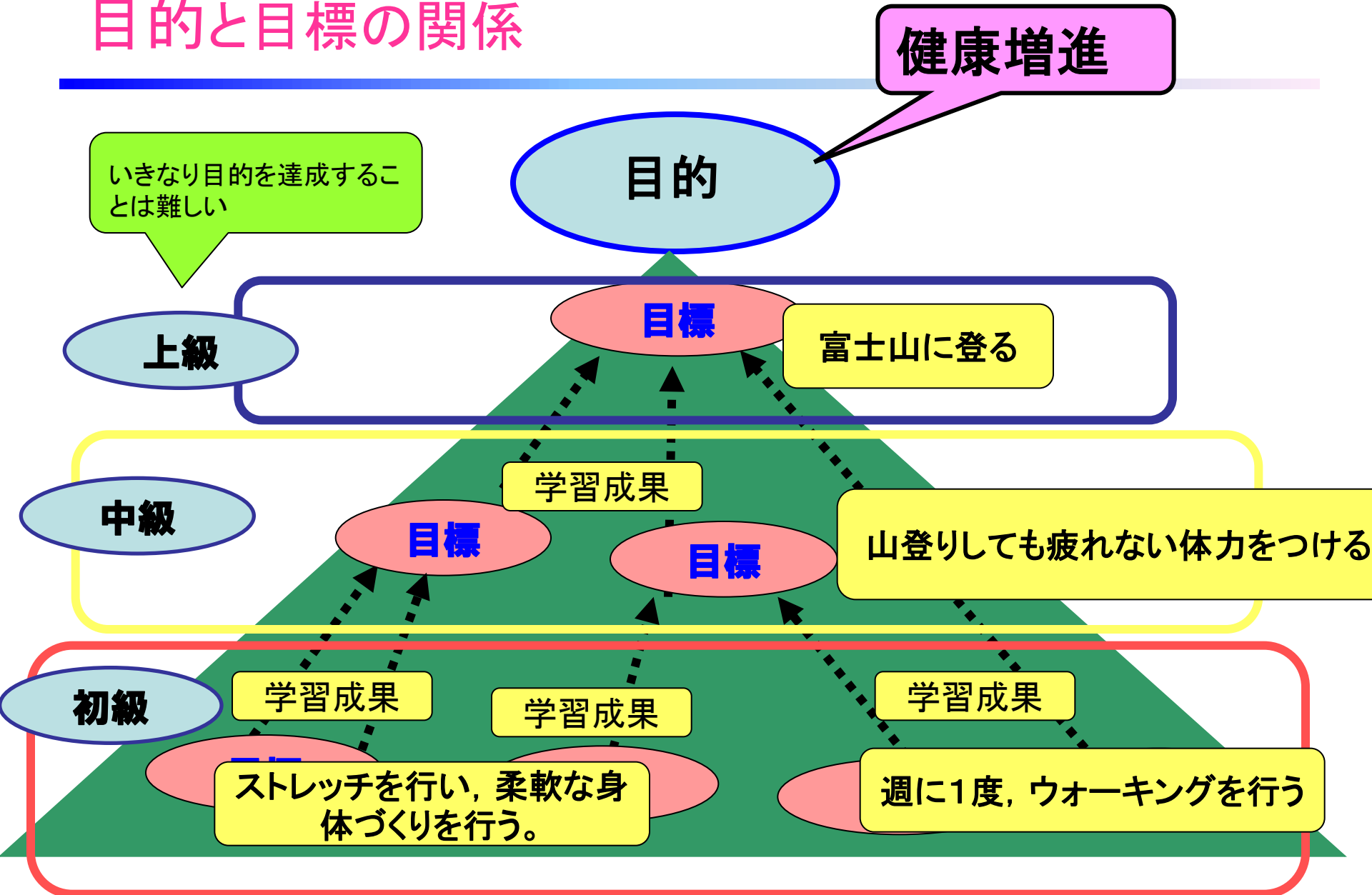
学習成果

学習成果

学習成果

ストレッチを行い、柔軟な身体づくりを行う。

週に1度、ウォーキングを行う



⑤学習目標の設定

シートA

具体的に事業の目標を文章化する

学習者に、どのような活動によって、どのような知識や技能を身につけてもらいたいのか、あるいは、どのような意識を向上したり、価値観を養ってもらいたいと考えているか？

- ア 知らないことを知るようになること (知識)
- イ できないことができるようになること (技能)
- ウ 意識を変えること (意識)

学習目標

ア 知らないことを知るようになること → 知識

(例文)

- 「ぱれっと川の歴史や生物の生息について学ぶことで、川をきれいにする重要性を理解する。」
- 「住民同士の交流を通して、川の魅力や植物等の地域資源の活用について知ることができる。」

・・・を学ぶことによって、〇〇〇について理解できるようになる。

学習目標

イ できないことができるようになること → 技能

(例文)

- 「地域住民みんなが一緒に清掃をすることにより、川
の環境を整えることができる。」
 - 「住民同士の関係がよくなりお互いの気持ちを伝え合
うことができるようになる。」
- ・・・を体験することにより、〇〇〇について表現
できるようになる。

学習目標

ウ 意識を変えること → 関心・意欲・態度

(例文)

- 「子供たちと共に楽しく川の清掃活動を行うことにより、ごみ問題や環境保全の意識が高まり、地元の川の美しさを守りたいという愛着が生まれる。」
- 「きれいな川を大切にする活動を通して、将来的にも川をきれいに保とうという思いが芽生え、地域同士の連帯感を高める。」

・・・に参加することによって、〇〇〇への考え方(意識)を広げる。

⑤学習目標の設定

シートA

学習者に、どのような活動によって、どのような知識や技能を身につけてもらいたいのか、あるいは、どのような意識を向上したり、価値観を養ってもらいたいと考えているか？

A 知らないことを知るようになること

I できないことができるようになること

U 意識を変えること

Uを必ず

1つ入れ

2つ以上設定

*** 生涯学習・社会教育の場合は、Uが重要**

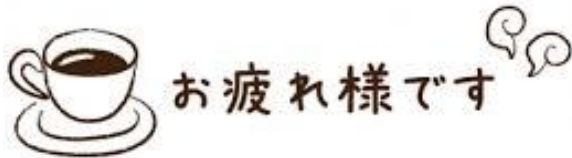
・主語は必ず学習者

・目標は必ずそのプログラム内で達成できるもの

・達成したかどうかを確認できるもの

シートA

の完成



60分間のお昼休憩に入ります



午後から

シートB

の作成に入っていく

グループワークⅣ

シートBを作成する。



学習プログラム「シートB」の作成

シートB

1 学習目的

どのように地域課題を解決し、どのような状態にしたいのかを文章化する。
(シートAから転記)



2 学習目標

学習課題を学習目標として文章化する。

- ①学習活動の指針となる目標が設定されているか。
- ②学習者に求める知識・意識・態度が目標として示されているか。
- ③具体的でわかりやすい言葉で示されているか。

(シートAから転記)



3 プログラム名

- ・魅力的で夢があるもの
- ・学習目標が伝わるもの
- ・ユニークで、短く、人の心をキャッチするもの



4 対象・定員

目的や目標に合わせて
絞り込む。



5 参加費

施設使用料，
食費，材料費，保険料
計〇〇〇円(申込時払い)
など，内訳や集金日時をは
っきりさせる。



6 事前に必要な知識や準備物

7 留意点

いざというときの医療機関
の情報収集, しおりやアン
ケートの作成, 必要物品の
手配

安全面の配慮, プログラ
ムを通しての配慮
(子ども, 高齢者ならでは
の配慮も必要)

8 学習プログラムの展開

回・日程	学習テーマ	各回の学習目標(◎) 学習内容	学習 支援者	学習 場所	評価 (振り返り の方法)
第1回〇月〇日 10:00~16:00					

第1回〇月〇日
10:00~16:00

チラシに掲載する各回のテーマを内容がわかるように、簡潔に書く。

◎参加者が...によって
〇〇になる。

①【講義・演習】
...を知る。(〇〇分)
...を聞く。(〇〇分)

②【参加】③【参画】
...を話し合う。(〇〇分)
...を計画する。(〇〇分)

講師,
指導者,
ボランティア

〇〇公民館
〇〇研修室
〇〇キャン
プ場等

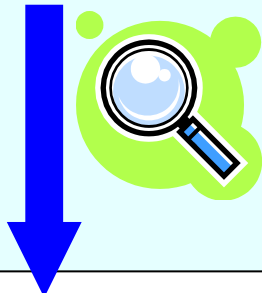
アンケート
インタビュー
行動観察
成果物の分
析



学習プログラム企画・立案の過程

PLAN

学習ニーズの把握や対象の分析



目的, 目標, 対象, 学習内容・方法,
時期, 会場, 回数等を定める。

DO

実施・運営



会場, 設備, 資料準備, 役割分担確認 等

CHECK

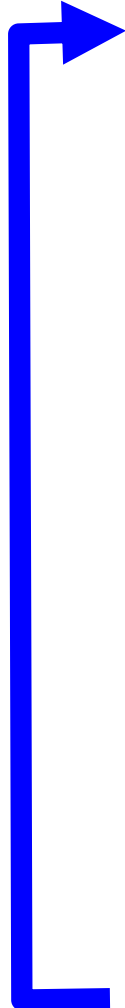
プログラム評価,



学習成果の評価 等

ACTION

プログラムの分析・改善, 一般化



プログラムの内容についての注意

- ◆必ず**3回以上の連続講座**を計画する。
- ◆学習・活動の成果が、**次の回の学習活動に活用**できるように、各回の流れを工夫する。

: 活動の系統性・連続性を重視

: オムニバス形式はよくない

: 計画→練習・準備→発表など

- ◆**地域資源の活用**を意識する。

学習プログラムの発表について

※ **14:20まで**

●シートBの作成 ●シートBの発表準備

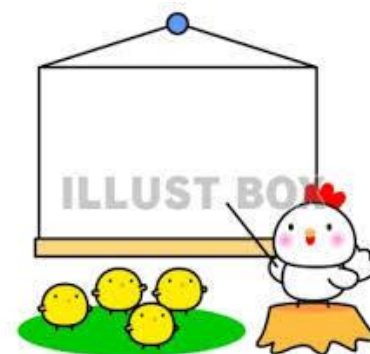
●発表タイムは **14:30~**

●**7分間**でシートBの内容を発表。

〈発表内容〉地域課題から学習目的・目標の設定、
プログラムの内容

→相互評価

●発表者を各グループ1人選んでおいてください。



学習プログラム開発のポイント その1



- ① **地域課題に応える「目的」「目標」になっているか？**
- ② **学習者を主体にした具体的でわかりやすい言葉で目標が示されているか？**

「誰が」(学習者)「何について」(学習内容), 「どのように」(学習方法) 学習するのかを明確に。
- ③ **対象者の範囲や人数が適切に設定されているか？**
- ④ **学習者にとって魅力的な内容になっているか？**
- ⑤ **プログラムの順序やつながりは適切か？**

各回の学習活動に連続性をもたせ, 起承転結を意識する。
- ⑥ **過去の学習活動の成果や地域の人材などを活用する工夫がなされているか？**

学習プログラム開発のポイント その2

- ⑦ **会場や場所，回数や日程，経費や参加費は適切に設定されているか？** あわせて，参加者の準備物，主催者の準備物も明確にしておく。
- ⑧ **プログラム名は，人を惹き付けて，内容が分かるものであるか？** 短い言葉で，どんなことをするのか分かるものにする。
- ⑨ **目標にあった評価方法が選択されているか？**
- ⑩ **参加者の振り返りを促す工夫がされているか？**
参加者自身による学習成果の確認を大切にする。
- ⑪ **ネットワークづくりの視点がプログラムにあるか？**
参加者間の相互交流，相互作用を促す工夫をする。
- ⑫ **学習成果を活用する機会や，次の活動へとつなげる工夫がされているか？**
活動の継続と発展，学びが広がる(周囲の人へ，生活の中へ)工夫をする。

シートBの発表と

相互評価

発表・相互評価の流れ

◆発表 7分 (終了時にベル2回)

発表者

➤ 学習プログラムの内容を発表

- シートBを中心に地域課題から学習目的・目標の設定、プログラムの内容について

発表者以外の人

★付箋に記入



➤ 評価コメント (気付き) を発表を聞きながら記入する。→発表後に、関係する箇所に貼付

◆質疑応答・相互評価 7分 (終了時にベル2回)

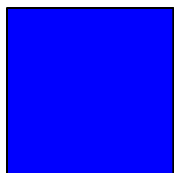
相互評価の方法

発表を聞きながら、評価コメント(気付き)を付箋に記入してください。



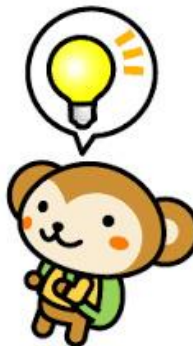
★ピンクの付箋

●良かったところ, その理由



★青い付箋

●(建設的な)改善案



●こうすればもっとよくなるかもというアイデア

×批判のみ禁止 建設的な意見を!

×「ここはよくない」 ×「ここができていない」

学習プログラム等の 講評

振り返り ・ 事務連絡

本日の研修を振り返って…

- 気が付いたこと。
- これから仕事に生かせそうなこと。
- 自分なりの「**目標**」をどれくらい
到達できたか？

復習と予習プログラム

●復習プログラム

発表・相互評価を通して気付いた

プログラムの改善点等について

復習しましょう。

●予習プログラム

本日，学んだことを生かして，

不完全なシートBをリデザイン（改善）

してみましょう。

事務連絡

①次回は 7月30日（月）
福山庁舎第3庁舎381・382会議室
9:30研修スタートです。

②事前課題

「**シートBをリテザイン**」してくる。
(参考:学習プログラム開発のポイント, 実践事例)

③次回も今回の**研修資料を持参**。
(**ファイリング**→**今後の活用**)

お疲れ様でした！

アンケートに御協力ください。

県立生涯学習センターからの最新情報はこちらから

ぱれっとひろしま

検索



クリック！



Thank you



参考資料

平成22・23年度生涯学習振興・社会教育関係職員等研修初級研修資料
(広島修道大学教授 山川肖美, 広島経済大学准教授 志々田まなみ)

「生涯学習支援のための参加型学習のすすめ方」
廣瀬隆人・澤田実・林義樹・小野美津子著

広島県立生涯学習センターホームページ「研修情報事業・学習プログラムの作り方」